

令和4年度の事業報告ならびに附属明細書

I 事業

1. 概況

- ・ 前年度とほぼ同じ内容、規模で計画・遂行した。
- ・ 収支計算書に関しては、概ね予算通りとなった。

（収入）

当期収入は 242 百万円、予算を 5 百万円上回った。

主な理由は、資産運用収入 3.8 百万円上回り、また寄付金 0.6 百万円があった。

（支出）

当期支出は 266 百万円となり、予算を 2 百万円下回った。

主な理由は、日本人海外留学生 80 万円減、管理費 150 万円減があった。

（収支差額）

以上の結果、当期収支差額は▲23 百万円となった。

次期繰越収支差額は、前期繰越収支差額 167 百万円と合計し 144 百万円となった。

- ・ また、公益財団法人の認定等に関する法律の要件を以下の通り満たしている。

（公益事業比率 認定法十四条）

公益事業の経常費用は 216 百万円となり、法人会計を含めた経常費用合計 266 百万円に対して 81%となり、基準である「50%以上」を満たす。

（収支相償 認定法十六条）

公益事業において、奨学事業が 56 百万円、研究助成事業が 21 百万円、費用が収益をそれぞれ上回り、収支相償の原則を満たす。

（遊休財産保有制限 認定法十五条）

次期繰越収支差額 144 百万円は、公益事業費用 216 百万円を 72 百万円下回り、遊休財産額が 1 年分の公益目的事業費相当額を超えない要件を満たす。

2. 日本人学生向け奨学事業

2.1 給与奨学金（385 名、115 百万円）

指定 72 大学の 385 名の理系学生に対して、一人当たり 30 万円/年、合計 115 百万円を給付した。

2.2 海外留学奨学金（4 名、4.7 百万円）

制度としては指定 5 大学に対して各 1 名の合計 5 名に対して、月額 15 万円の奨学金と渡航費 20 万円を給付することとしている。対象はいずれも理系の大学院生。

2022 年度は 1 名がキャンセルとなったが、4 名が昨年 10 月まで留学し、給付している。

2.3 貸与奨学金

2011 年度から新規募集を停止し、現在は貸与金の回収のみおこなっている。

2022 年度は予測どおり 51 百万円の返還金があり、完済者は 78 名となった。

なお、裁判による和解、その後の督促にも関わらず居所不明者となった 1 名に対し、弁護士見解も参考に、貸与残金 59.1 万円は回収困難と判断し貸倒引当金を取崩し充当した。

2022 年度末の返済残額は 144 百万円（346 名）となった。

3. 海外からの留学生向け給与奨学事業（80 名、24 百万円）

指定 69 大学の理工系私費留学生 80 名を募集し、80 名の応募があり、一人当たり 30 万円/年を給付した。

4. 奨学生ならびに大学担当部門との面談・交流

4.1 指定大学訪問

コロナの影響により中止していた大学訪問を、7 校（東北大、阪大、東工大、横国大、早稲田、慶應、学習院）に絞り再開し、大学担当部門との意見交換、奨学生の面談を実施した。（慶應は大学の申し出により Web 会議）。

4.2 海外からの私費留学生との懇談交流

コロナの影響により、例年 12 月に実施している首都圏所在大学の海外からの留学生との懇談交流会は中止した。

5. 研究助成事業（30 名、60 百万円）

2022 年度は指定 36 大学に推薦を依頼し、30 大学 54 名の応募があった。選考委員会で審査の結果、22 大学 30 名に対して一人 200 万円、合計 60 百万円を助成した。

なお、2022 年 9 月に開催していた研究助成金贈呈式はコロナ禍影響で中止した。

また、2020 年度の採用者から研究期間を 2 年としたため、2 年ぶりの研究報告集を発行した。

公益財団法人 日揮・実吉奨学会 奨学金および研究助成金の指定大学一覧(2022年度)

大学 コード	大 学 名	日本人		留学生		研究助成金		大学 コード	大 学 名	日本人		留学生		研究助成金		大学 コード	大 学 名	日本人		留学生		研究助成金	
		給与 (人数)	留学	給与 (人数)	奇数年	偶数年	給与 (人数)			留学	給与 (人数)	奇数年	偶数年	給与 (人数)	留学			給与 (人数)	奇数年	偶数年			
01	北海道	9		2			○	25	福 井	3		1		○		53	富 山	3		1		○	
02	東 北	9		2	○			26	静 岡	7		1		○		54	琉 球	3		1		○	
03	東 京	11	○	2	○			27	山 梨	3		1		○		55	茨 城	4		1			○
04	京 都	11		2			○	28	名古屋工業	5		1			○	56	東京農工	5		1		○	
05	大 阪	11	○	2			○	29	山 口	4		1		○		57	岐 阜	4		1		○	
06	九 州	11		2			○	30	九州工業	5		1		○		58	愛 媛	4		1		○	
07	東京工業	9	○	2	○			31	室蘭工業	3		1			○	59	北見工業	2		1		○	
08	横浜国立	6		1			○	32	東京都立	5		1			○	60	宇都宮	2		1		○	
09	岩 手	3		1	○			34	早稲田	11	○	2			○	62	佐 賀	3		1			○
10	千 葉	7		2			○	35	慶應義塾	9	○	1			○	63	大 分	1		1			○
11	新 潟	4		1	○			36	芝浦工業	9		1			○	64	兵庫県立	3		1			○
12	金 沢	4		1			○	37	東京電機	9		1		○		65	豊橋技術科学	2		1			○
13	名古屋	9		2	○			38	日 本	11		1		○		66	長岡技術科学	2		1			○
14	神 戸	7		1	○			39	中 央	4		1			○	67	筑 波	7		2			○
15	岡 山	5		1	○			40	学習院	1		-			○	68	工学院	7		1			○
16	広 島	5		1			○	41	東京理科	11		1		○		69	東 海	11		1			○
17	徳 島	4		1	○			42	千葉工業	9		1			○	70	電気通信	4		1			○
18	長 崎	2		1	○			43	成 蹊	1		-			○	71	立命館	8		1			○
19	熊 本	4		1	○			45	鹿児島	5		1		○		72	日本女子	1		-			○
20	宮 崎	3		1	○			47	東京都市	4		1			○	73	東京海洋	3		1		○	
21	鳥 取	4		1	○			48	上 智	2		1		○		74	明 治	9		1		○	
22	秋 田	2		1			○	49	関東学院	3		1		○		75	同志社	5		1		○	
23	山 形	5		1			○	50	信 州	7		1			○	76	お茶の水女子	1		-		○	
24	群 馬	3		1	○			52	埼 玉	4		1			○	77	大阪公立	8		2			○

* 日本人向け奨学金	給与 385名/72大学	留 学 4名/5大学
* 留学生向け奨学金	給与 80名/68大学	
* 研究助成金	30名 (36大学)	

(大学コード 欠番 : No33 No.44 No.46 No.51 No.61)

A006077 公益財団法人 日揮・実吉奨学会

2022年度 研究助成金受給者名簿 22大学30名

大学	氏名	所属	職名	研究題目
北海道	鈴木 明大	電子科学研究所	准教授	構造化軟X線ナノビームによる高分解能磁気イメージング
北海道	福岡 脩平	理学研究院	助教	分子設計の自由度を活用したMott境界近傍に位置するλ型有機導体の電子状態の解明と物性探索
京都	大坪 主弥	理学研究科	助教	金属錯体ナノチューブを基盤とした混合伝導体の創成
京都	上田 善弘	化学研究所	助教	無保護糖を用いるC-グリコシル化反応の開発と糖タンパク質模倣体合成への応用
大阪	山口 渉	基礎工学研究科	助教	複合金属ナノ結晶の協奏的触媒作用を基盤とする廃プラスチック水素化分解プロセスの開発
大阪	緒方 奨	工学研究科	助教	地熱開発の飛躍的促進に向けた亀裂性岩盤の革新的マルチスケール・マルチフィジクス数値シミュレータの開発
九州	伊藤 太一	基幹教育院	助教	ヒドラ睡眠制御アトラスの構築
横浜国立	信田 尚毅	工学研究院	助教	固体高分子電解質電解を利用した炭酸ガス固定化反応の開拓
千葉	島田 貴士	園芸学研究院	助教	葉の油滴が発揮する新規の炭疽病菌抵抗性メカニズムの解明
金沢	菊川 雄司	理工研究域	准教授	近赤外光利用を指向した有機無機ハイブリット材料の開発
金沢	林 裕晃	医薬保健研究域	准教授	被写体の定量情報を引き出せる新しいレントゲン撮影検出器の開発
広島	河崎 陸	先進理工系科学研究科	助教	大きさ・形態・キラリティ、三つの物理量を自在に入力変換可能なソフトナノマテリアルの創製とそのBNCTへの応用
山形	江部 日南子	学術研究院	助教	有機電荷移動錯体を利用した高発光・超安定ペロブスカイト量子ドットの開発とLEDへの応用
山形	関根 智仁	学術研究院	助教	指紋を有する生体模倣型ソフトすべり覚センサの創出
名古屋工業	氏原 嘉洋	工学研究科	准教授	陸生脊椎動物の心室血液充填能の進化における細胞・分子基盤の解明
室蘭工業	矢島 由佳	工学研究科	准教授	自然災害からの農地の早期回復に向けた耐塩性陸生アメーバ類の探索と能力の検討
早稲田	土戸 優志	理工学術院先進理工学部	講師	病原性微生物を検出・捕捉する高分子材料の開発
慶應義塾	岩崎 有紘	理工学部	専任講師	高性能計算機を活用した有用天然物探索
学習院	鹿毛 あずさ	理学部	助教	深層学習による集団運動中の個体運動の追跡
千葉工業	三浦 正義	工学部	助教	細管流路内に液柱移動に伴い形成される液膜の高速度撮影による厚さ分布測定と予測手法確立
千葉工業	松田 泰明	工学部	准教授	三次元トンネル型リン酸塩の高プロトン導電特性発現機構の解明と中温作動型燃料電池への応用
東京都市	丸山 恵史	理工学部	准教授	価電子制御された超高強度ホウ素系硬質セラミックスの創成
信州	佐伯 大輔	工学部	助教	自己駆動する異方性ハイドロゲル粒子の作製
豊橋技術科学	関口 寛人	工学研究科	准教授	広域脳システム解明を目指した生体埋め込み型フレキシブル蛍光センシングデバイスの開発
筑波	宮川 晃尚	数理物質系	助教	超音波－重力複合場中の粒子浮揚および解離挙動に基づいた微量計測法の開発
筑波	原田 隆平	計算科学研究センター	准教授	生物学的相分離を予測・体系化する分子シミュレーション技術の開発と応用
電気通信	守 裕也	情報理工学研究科	准教授	輸送機の燃費向上のための乱流摩擦低減リブレットの研究
立命館	元村 一基	生命科学部	助教	近接標識技術を基盤とした“単離困難な細胞内被覆構造”の上に存在する生殖関連分子群の解析
立命館	塩谷 和基	生命科学部	助教	感覚入力から適切な行動を取るための文脈情報の解明～嗅覚をモデルとして～
大阪公立	中園 孝志	人工光合成研究センター	特任講師	新規異種金属二核錯体触媒による水の可視光分解系の構築

Ⅱ 庶務・管理

1. 役員に関する事項

- ・ 理事（山崎裕氏が理事長に就任。竹内理事長は退任し、評議員に就任）
- ・ 評議員（飯田評議員が5月、小川評議員が9月にご逝去され退任）
- ・ 選考委員（慶大 岡田氏から斎木氏へ、学習院 岩田氏から岡本氏へ交代）
- ・ 役員などの定数、人数、任期は次の通り（2023年3月31日現在）

	定数	現在の人数	任期
理事	5名以上8名以内	8名	2021年6月より2年
監事	2名以上3名以内	2名	2021年6月より2年
評議員	8名以上12名以内	8名	2019年6月より4年
選考委員	8名以上14名以内	8名	任期なし

- ・ 2023年3月31日現在の理事、監事は次の通り

職名	氏名	現職	任期＊1
代表理事 理事長	やまざき ゆたか 山崎 裕	元日揮グローバル（株）代表取締役社長	2022年6月より 1年間
理事	おかだ あきしげ 岡田 明重	（株）三井住友銀行名誉顧問	2021年6月より 2年間
理事	しま こうし 島 公志	島貿易（株）代表取締役会長	2021年6月より 2年間
理事	きくち えいいち 菊地 英一	早稲田大学名誉教授	2021年6月より 2年間
理事	あらかわ いちろう 荒川 一郎	学習院大学長	2021年6月より 2年間
理事	しまだ とよひこ 島田 豊彦	元日揮（株）監査役	2021年6月より 2年間
業務執行理事 常務理事	のはら のぶたか 野原 延孝	事務局長	2021年6月より 2年間
理事	こたに まさひろ 小谷 正博	学習院大学名誉教授	2021年6月より 2年間
監事	たけうち ひであき 武内 秀明	弁護士	2021年6月より 2年間
監事	ひろせ たけひこ 広瀬 岳彦	日揮グローバル（株）執行役員	2021年6月より 2年間

＊1 理事及び監事の任期は選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで。

A006077 公益財団法人 日揮・実吉奨学会

- 2023 年 3 月 31 日現在の評議員は次の通り

職名	氏名	現職	任期＊2
評議員	すがわら ただし 菅原 正	東京大学名誉教授	2019 年 6 月より 4 年間
評議員	にしで ひろゆき 西出 宏之	早稲田大学理工学術院特任研究教授	2019 年 6 月より 4 年間
評議員	あおやま とうじろう 青山藤詞郎	慶応義塾大学名誉教授	2019 年 6 月より 4 年間
評議員	さとう まさゆき 佐藤 雅之	日揮ホールディングス（株） 代表取締役会長 CEO	2019 年 6 月より 4 年間
評議員	やまだ ゆう 山田 裕	元日揮・実吉奨学会次長	2019 年 6 月より 4 年間
評議員	ひらの としお 平野 俊夫	大阪大学名誉教授	2019 年 6 月より 4 年間
評議員	うちだ たつお 内田 龍男	東北大学名誉教授	2019 年 6 月より 4 年間
評議員	たけうち けいすけ 竹内 敬介	元日揮(株)代表取締役会長	2022 年 6 月より 1 年間

＊2 評議員の任期は選任後 4 年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで。

- 2023 年 3 月 31 日現在の選考委員は次の通り

職名	氏名	現職	就任
選考委員 会委員長	こたに まさひろ 小谷 正博	学習院大学名誉教授	2011 年 5 月
選考委員 会委員	いわつき のぶゆき 岩附 信行	東京工業大学副学長	2018 年 4 月
選考委員 会委員	うめざわ おさむ 梅澤 修	横浜国立大学工学研究院長・工学府長・理工学部 部長	2019 年 4 月
選考委員 会委員	やまなか ゆたか 山中 裕	日揮ホールディングス(株)シニアフェロー	2019 年 4 月
選考委員 会委員	そめや たかお 染谷 隆夫	東京大学研究科長・工学部長	2020 年 6 月
選考委員 会委員	すがの しげき 菅野 重樹	早稲田大学理工学術院長	2020 年 9 月
選 考 委 員 会委員	さいき としはる 斎木 敏治	慶應義塾大学理工学研究科委員長	2022 年 6 月
選 考 委 員 会委員	おかもと ひさし 岡本 久	学習院大学理学部長	2022 年 6 月

2. 会議に関する事項

2.1 理事会

開催日	議題	結果
2022 年 5 月 25 日	1. 令和 3 年度事業報告および収支決算の件 2. 理事候補 1 名推薦の件 3. 定時評議員会招集の件 4. 業務報告（報告事項）	1. 原案通り可決 2. 原案通り可決 3. 原案通り可決 4. 報告事項
2022 年 6 月 2 日	1. 代表理事の選任	1. 原案通り可決
2023 年 3 月 7 日	1. 令和 5 年度（2023 年度）事業計画の件 2. 令和 5 年度（2023 年度）収支予算の件 3. 定款の一部変更(案)の件 4. 臨時評議会招集の件 5. 業務報告の件（報告事項）	1. 原案通り可決 2. 原案通り可決 3. 原案通り可決 4. 原案通り可決 5. 報告事項

2.2 評議員会

開催日	議題	結果
2022 年 6 月 2 日	1. 令和 3 年度事業報告および収支決算の件 2. 理事 1 名補欠選任の件 3. 評議員 1 名補欠選任の件 4. 選考委員選任の件 5. 業務報告の件（報告事項）	1. 原案通り可決 2. 原案通り可決 3. 原案通り可決 4. 原案通り可決 5. 報告事項
2023 年 3 月 23 日	1. 業務報告の件（報告事項） 2. 令和 5 年度（2023 年度）事業計画の件 3. 令和 5 年度（2023 年度）収支予算の件 4. 定款の一部変更（案）の件	1. 報告事項 2. 原案通り可決 3. 原案通り可決 4. 原案通り可決

2. 3 選考委員会

開催日	議題	結果
2022 年 6 月 24 日	1. 2022 年度日本人向け給与奨学生 385 名採用	1. 原案通り決定
2022 年 7 月 25 日	1. 2022 年度研究助成金受給者 30 名採択	1. 原案通り決定